

質問順位	2	質問者	小野保之議員		
件名		項目		要旨	メモ
1. 市長の基本姿勢		1. 市長選挙における公約（イレブン・プラス・ワン）について		1. 1期4年間の実績を踏まえ、市長として新たに滝川の舵取りを任されたところですが、市長選においてはたきかわ創生を訴えていますが、基本的には滝川市総合計画がベースになると考えます。市長選では政策目標である「イレブン・プラス・ワン」を重点としていますが、あくまでもこれらの推進に傾注していくのか伺います。	
				2. 市長公約となれば大変重いものと認識します。1期目の積み残した公約に対して、なぜ、どうして、できなかったかを検証すべきであり、公約の未達成を市民に説明すべきと考えますが、市長の見解を伺います。	
				3. 前田市長はオール滝川を標榜されています。市民に対してのこの意識を浸透させていくには、市長自身が動くことが重要であり、ただ単に掛け声倒れにならないようにするには、市長の行動としてタウンミーティングを早期に開催し、率直に市民の声を聞くべきと考えますが、市長のお考えを伺います。	
				4. 高齢化、少子化に対する取り組みを強く訴えていますが、それぞれ高齢化対策、少子化対策における滝川市独自の対策を考えているのか、また、具体的な課題をどのように認識しているのか伺います。	

質問順位	2	質問者	小野保之議員		
件名	項目		要旨		メモ
	2. 財政健全化計画の進め方について		1. 滝川市の財政状況は、一言で言えば硬直化していると言わざるを得ない現況だと思います。平成27年度当初予算においての4億3,100万円、補正を含めると5億円を超えている基金繰入額が滝川市の財政状況を如実に表しています。また、経常経費における「人件費、扶助費、公債費」が膨らむ中で、新規事業、継続事業の見直しを図らなければならない現実と認識するところです。市長として事業の見直しに対してどのように進めていく考えか、更に実行に移すにはどのような考えがあるのか、市長の見解を伺います。		
			2. 全道下位に甘んじている基金残高に対して、市長としてどのように考えているのか伺います。		
			3. 財政健全化計画における行財政改革は、今までのやり方では既に限界ではないかと思う。そこで、市長として健全化計画を策定するにあたり、新たな発想と強いリーダーシップを発揮することが望まれると考えますが、市長としてどのような厳しい判断をしていくのか伺います。		
			4. プライマリーバランス（基礎的財政収支）から見ると、政策的経費に充当可能な部分が見えてくると思うが、本市として、基礎的財政収支から見えてくるものをどのように捉えているのか伺います。		

質問順位	2	質問者	小野保之議員		
件名		項目	要旨	メ	モ
		3. 滝川版総合戦略について	1. 人口減少対策等々様々な意見を聴取することのことだが、雇用対策では「特化」（中小企業等支援～優遇税制等を含めた）が必要ではないかと考えるが、特に総合戦略の策定において重要なポイントは何か。また、市民に対する情報発信はどのようにしていくのか伺います。		
2. 市民生活行政		1. 女性センター設立について	1. 市長は女性センターを設立すると様々な会合で言われていますが、組織、機構、職員の配置等、市民の声、特に「女性の声」をどのように拾い上げ、施策に結びつけようとしているのか伺います。		
3. 福祉行政		1. 障がい者対策事業について	1. 障がい者対策事業の内容について、滝川市の考えは、障がいの度合いによるが、就業可能人数、雇用体制、適正な賃金を保っているのか。就業機会、職業訓練等に対する取り組みはどのように対応しているのか伺います。		
		2. 健康づくり事業について	1. 健康づくり事業の具体的推進に対する考えについてお聞きします。実施箇所、民間施設の利用を含め指導員数等は充分対応しきれると考えているのか伺います。		
		3. 高齢者の認知症対策について	1. 高齢者の認知症対策について、 ①高齢者の認知症対策の基本的考えは ②介護事業計画における滝川市として早急に取り組みを実施しなければならない事業は ③グループホーム事業者との連携はどのようにになっているか ④地域包括支援センター機能が充分な対応ができているのか 伺います。		

質問順位	2	質問者	小野保之議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
	4. 子ども・子育て支援事業計画について	1. 子育て支援事業計画における父子家庭支援策の具体的項目について、母子家庭との大きな違いは何か。また、支援に対しての具体的項目とその周知方法はどのようにしているのか伺います。			
4. 経済行政	1. 観光行政の在り方について	1. 地域協力員の発想、地域の発想をまとめる力を観光協会が主体的に行うようにしなければ、ただ、滝川市を通過するだけではないのか。お考えを伺います。			
	2. 企業誘致の推進について	1. 滝川の地の利だけでは誘致は進まない。流通団地を特化しなければならないと考えるが、税制面、技術面、産学共同が求められるのではないかと。滝川市のスタンスはどうあるべきかについて伺います。			
	3. 広域行政における経済的結び付きについて	1. 定住自立圏構想における多様な経済的結び付きを強化すべきと考えるが、協議市町間の様々な情報を含めた推進策が必要と思うが、中心市として具体的にどのような構想を考えているのか伺います。			
5. 農業行政	1. 農業施策について	1. 昨年は滝川市の基幹産業である水稲はコスト割れの状態で、特に農地を集積した担い手ほどダメージが大きく、本年支払われるナラシ対策の交付金では補われない状態です。今年度の施策として、これらの取り組みについての考え方をお聞きます。また、担い手対策として外部の新規就農を考えているようだが、既存の農家戸数を減らさない対策を考えているのか伺います。			

質問順位	2	質問者	小野保之議員		
件名	項目		要旨	メモ	
6. 病院経営	1. 市立病院経営について		1. 市民からの意見、要望は病院経営にどのように反映されているのか伺います。		
7. 教育行政	1. 学力向上対策について		1. 滝川市の学力テスト結果についての検証を行っていますが、個の力を伸ばす事への対応が不可欠と考えます。個の力は、積み重ねでの本人の努力が問われますが、学校、地域を含めた支援を行わなければならないと思います。市教委として具体的、かつ年次的な学力向上プログラムをどのように考えているのか伺います。		
	2. 小・中学校適正配置計画について		1. 策定から5年経過したことから、本年、この計画の見直しを検討するとのことですが、計画の推進には十分な地域との対話が必要と考えますが、課題を含めた把握はどのようになっているのか伺います。		